

**憲法しんぶん 速報版**  
 発行 憲法改憲阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007  
 ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2018年7月12日（木）  
 NO. 874号 本号3頁

## 憲法共同センター 猛暑の中、 3000万人署名・宣伝行動 <9の日行動>

安倍政権の憲法9条改憲を阻止しようと、9日、憲法共同センターは新宿駅東口で、安倍9条改憲に反対する全国3000万人署名・宣伝行動にとりくみました。憲法共同センターに参加する労働組合や団体の代表らがマイクを握り、訴えました。大変暑い日でしたが、行動に参加した仲間は懸命に署名を呼びかけました。

この取り組みは、憲法を守り生かそうと毎月9日を中心に行っている「9の日」行動です。全労連、新日本婦人の会、憲法会議など、様々な団体でつくる憲法共同センターが呼びかけ、「9の日」行動は、全国各地で行われています。

この日の宣伝には、日本共産党の本村伸子衆院議員も参加。本村議員は、所属する衆院憲法審査会を今国会ではこれまで2回、あわせて6分程度の委員会しか開催させず、具体的な改憲論議はさせなかったと報告し、「3000万人署名を成功させて、安倍9条改憲をストップさせよう」と訴えました。本村議員はマイクでの訴えた後も、署名用紙を持って、行動の最後まで署名を訴えました。



また、杉井静子・全国革新懇代表世話人は「安倍政権の狙いは、憲法を変えて海外で戦争ができる国にすることです。絶対に許してはなりません」と訴え、全商連副会長の星実氏は「平和でこそ商売繁盛です。暮らしを守るために、是非署名に協力を」と訴えました。

署名を呼びかけた青年は「僕、すでに署名しました」と語り、さらに「韓国のような徴兵制が導入されたら、いやですね。若者も頑張らなければいけないですね」と語りました。

## 災害よいバク千！

### 参院内閣委員会で与党がカジノ/法案の審議入り強行

立憲民主党、日本共産党など野党は、政府は西日本豪雨災害への対応を優先させるべきだとして、カジノ実施法案の審議を進める与党への批判を強めています。自民・公明の与党は10日、西日本を中心とした豪雨災害の被害が拡大するなか、カジノ実施法案の参院内閣委員会での審議入りを強行しました。

とりわけ野党が問題にしているのは、カジノ実施法案担当の石井啓一国土交通相が災害復旧も所管している大臣であり、大変な被害がでているなかで、平然とカジノ実施法案の審議をおこなっていることです。

日本共産党の大門実紀史議員は「これだけの大災害が起き、この瞬間も被害が拡大しているときに、災害よりも賭博の議論をしているなどありえない」と政府・与党の対応を厳しく批判しました。さらに、石井国土交通相には土砂災害に対応する責任があることを指摘し、「災害対応を優先したいという意思是さなかったのか」とただしました。石井国交相は「私は国会の意思に従っている」と述べ、災害対応への意思是しませんでした。



大門氏は「大臣がそういう姿勢だから同じような災害が何年たっても繰り返される」と指摘。「被災者を出さない、人命を尊重する立場で踏み込んだ検討をするのが政治の役割だ」と強調しました。

また、国民民主党の矢田稚子議員は「豪雨災害で一刻も争う状況が続いている。そんな中でカジノ法案の審議をしているといいの」と述べ、石井国交相の委員会出席に苦言を呈しました。

さらに、立憲民主党の辻元国対委員長は「人命第一と言いながらカジノ第一だ」と痛烈に批判しています。

## **「党利党略」の参院選改革、公選法改正案を参院で強行**

参院政治倫理確立・選挙制度特別委員会は11日、自民党などが提出した参院選挙制度改革に関する公職選挙法改正案を賛成多数で可決しました。同日中の参院本会議でも可決され、衆院に送付されました。改正案は、①比例選で他候補に優先して当選する「特定枠」を創設して定数を4増、②埼玉選挙区の定数を2増とする内容です。

10日の委員会での審議では、与野党の激しいやりとりがありました。日本維新の会は石井浩郎委員長に対する問責決議案を参院に提出し、その文面に「委員長にはより高度な中立性のもと、委員会を運営することが求められる。このたびの議事運営は断じて容認できない」との厳しいことばを並べています。また、馬場幹事長は「普段は戦略として取らない厳しい対応をする」と怒りをあらわにしています。

野党では国民民主党の足立信也政調会長は「選挙制度はできるだけ全会派の合意を得て改正されるべきだ」と批判。立憲民主党の蓮舫参院議員は「災害の最中に、合意が得られないで議員の身分を決めるのか」と批判。野党の多くが「党利党略だ」と批判を強めています。

しかし、11日、与党は国民の声を無視し、委員会で強行し、参院本会議でも強行しました。

## **各地の母親大会で**

### **「安倍9条改憲に終止符を」と呼びかける特別決議を採択**

#### **福井** 落語で憲法を語る八法亭みややっこ氏が講演

第50回福井県母親大会が8日、福井市の県教育センターで開催され、のべ350人が参加しました。講演や分科会で憲法や原発、介護、教育、消費税などの問題を学び交流し、「安倍9条改憲に終止符を」と呼びかける特別決議を採択しました。

実行委員会の吉川照子代表委員はあいさつで、「安倍内閣の暴走を許すわけには行きません。内閣退陣につながる大会になるよう成功させましょう」と呼びかけました。

落語で憲法を語る「八法亭みややっこ」こと飯田美弥子弁護士が「歴史に学び、未来を志向する日本国憲法」と題して講演。2013年に始めた憲法落語が好評で、ほとんど土日がつぶれ、「安倍さんには一日も早く退陣してもらい、私を楽にしてほしい」と語り、笑いを誘いました。

みややっこさんは20102年の自民党改憲草案が日本国憲法の「公共の福祉」の規定を「公益及び公の秩序」に書き換えている問題にふれ、「公益」を「安倍さんの好み」と読み替えるとわかりやすい。安倍さんの好みに反してならない（ということになる）。人権がことごとく制限されると指摘しました。

福井市の女性（71）は「わかりやすい話で元気をもらった」と語っていました。

最後に、参加者らは「憲法9条をまもりましょう」と訴えてパレードを行いました。

#### **福島** 500人が参加し、改憲阻止の運動を広げようとの大会宣言採択

第61回福島県、第32回郡山市母親大会が7日、郡山市で開催され、全県から500人余が参加しました。「安倍9条改憲ノー」3000万人署名を引き続き積み上げ、改憲阻止の運動を広げようとした大会宣言を採択しました。

障害者・家族で結成し20年目の「やまびこ太鼓」メンバーによる演奏で全大会が開幕。池愛子実行委員長が、改憲阻止、原発再稼働反対を訴え、「核戦争から子どもを守ろうと始まった母親大会。平和な地球を子どもたちに手渡すため、学び、語り、運動の輪を大きく広げましょう」と強調しました。

大会宣言では、東京電力福島第一原発事故から8年目に入り、リ



アルタイム線量計（モニタリング・ポスト）撤去問題や賠償打ち切りなど新たな動きが起こっているとも指摘し、元の福島を取り戻すまで力を合わせようと強調。原発再稼働の中止と「原発ゼロの日本」への決断を求める特別決議、全体会に先立つ分科会などでの申し合わせや要望事項も採択しました。

今野順夫（こんのとしお）元福島大学学長が記念講演をしました。また、品川萬里郡山市長のメッセージが紹介され、来賓の柳沼純子県議会副議長、日本共産党の神山悦子、阿部裕美子、宮川えみ子、宮本しづえ各県議らが紹介されました。

## 各地のとらえかみ

### 埼玉 「ストップ入間基地拡張！市民の会」基地拡張問題で防衛書に申し入れ

「ストップ入間基地拡張！市民の会」は9日、航空自衛隊入間基地（埼玉県狭山市・入間市）の拡張問題について、防衛省に申し入れを行いました。日本共産党の塩川鉄也衆院議員、梅村さえこ参院比例候補、入間市市議団も参加しました。

同基地に隣接する入間市東町留保地では、自衛隊病院などのための造成工事が進められており、入間市民に十分な説明がないまま、高さ3メートルの鋼板で現場を隔離して工事が行われています。要望書では、工事現場の市民見学会や住民説明会の開催などを求めています。

防衛省の担当者が「工事現場見学会は予定していない」と答えたのに対し、参加者は見学会の日曜日開催も含め検討せよと求めました。

また、要望書では、防衛省に対し、入間基地及び災害対処拠点と建設予定の自衛隊病院が海外での戦闘に関わる活動に使用されないとの回答を求めたものの、防衛省の担当者からは明確な返答はありませんでした。



### 東京 9日大塚宣伝行動「あとはあなたたちに託すわね」と署名

東京憲法共同センターの定例署名・宣伝行動が9日（月）12時15分から大塚駅南口で行われ11団体46人が参加し、3000万人署名を60筆集め、チラシ250枚を配布しました。

東京土建、東京自治労連、全日本年金者組合、東京平和委員会等の代表がマイクをにぎり、「自衛隊員が豪雨災害の中で頑張っているが、憲法9条に自衛隊を書きこむと災害救助の仕事はできなくなる」「米朝首脳会談によって朝鮮半島の非核化が確認された。いま世界は憲法9条の流れになっている。こんな時に憲法を変えてはいけない」「国政を私物化する安倍政権は一日も早く辞めさせよう」「安倍政権のもとでの改憲には国民の多数が反対している」などと3000万人署名への協力を呼びかけました。

豊島区の女性は、「子どももいるし戦争は絶対ダメです」と署名。さいたま市の男性も「戦争はダメだ。安倍さんはウソをつき、国民をバカにしている、辞めさせたい」、葛飾の男性は「カジノ法案を最優先課題などおかしな話だ、9条を変える必要はない」など、安倍政権への批判や怒りが示されました。大雨の被害が甚大なのに海外に行くのはおかしいとの声もありました。

40代の女性は、「とりあえず9条反対の意思表示をしたかった」と署名。配布したティッシュの中に署名入りハガキがあることを伝えると、「まわりをお願いしてみます」ともう1つ追加でティッシュを受け取ってくれました。

4人組で歩いていたら、1人立ち止まって署名に協力してくれた文京区在住の70代女性は、戦争中に疎開していた自身の体験を話し署名したあと、「あとはあなたたちに託すわ」とはげましてくれました。

<憲法改悪に反対する東京共同センター 憲法ニュースより一部省略>

9条改憲NO！北東アジアの平和と共生を！  
政治の腐敗と人権侵害を許さない

安倍政権の即刻退陣を要求する

# 7・19国会前大行動

7/19（木）18：30～20：00 国会正門前

主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会